

平成 29 年 11 月 28 日

リニア駅周辺整備基本設計業務 公募型プロポーザル 選定結果および審査委員会総評

飯田市

飯田市では、「リニア駅周辺整備基本構想」および「リニア駅周辺整備基本計画」に基づき、これを具体化するための基本設計業務に関わる事業者を選定する公募型プロポーザルを実施しました。

審査委員会による厳正かつ公平な審査の結果、次の者を優先交渉権者として選定し、契約締結の交渉を経て、基本設計業務の受託者として決定しましたので、以下の通りお知らせします。

1. 公募型プロポーザルの趣旨及び目的

飯田市では、リニア中央新幹線開業に向けてリニア駅周辺地区の整備に関する「リニア駅周辺整備基本構想」（以下「基本構想」といいます。）を平成 27 年 6 月に策定し、それに基づいて「リニア駅周辺整備基本計画」（以下「基本計画」といいます。）を平成 29 年 6 月に策定しました。

この基本計画には、リニア駅周辺整備区域の整備コンセプトとして、①機能的でコンパクトな駅空間、②信州・伊那谷らしさを感じられる駅空間、③自然との調和を目指した駅空間、④地域と一体化した駅空間の 4 つを定めるなど、基本的な事項を定めました。

そこで、基本計画において定めたこれらの基本的事項を、基本設計としてより具体的に練り上げるために、土木、建築、都市計画、ランドスケープ、環境・エネルギー、コミュニティデザイン、公民連携の各分野において優れた設計チームを選ぶことが極めて重要であると考えます。

以上を踏まえ、リニア駅周辺整備基本設計業務を委託するにあたり、当市の特性を理解し、各施設の基本設計に対する意欲・情熱を持ち、卓越した技術を有する設計チームを選考するため、本実施要領により広く企画提案を募集し、最も適切な事業者を本業務の受託者として選定することを目的として公募型プロポーザルを実施しました。

2. 優先交渉権者および次点者

<優先交渉権者>

154 番 代表事業者 中央コンサルタンツ株式会社 飯田事務所
(中央コンサルタンツ株式会社・株式会社設計領域・株式会社三菱地所設計 チーム)

<次点者>

672 番 代表事業者 株式会社建設技術研究所 長野事務所
(株式会社建設技術研究所・株式会社日総建 チーム)

3. 受託者

代表事業者 中央コンサルタンツ株式会社 飯田事務所
(中央コンサルタンツ株式会社・株式会社設計領域・株式会社三菱地所設計 チーム)

4. 受託者業務配置体制

役 割	氏 名	所 属
チームリーダー	しまだ まさのり	中央コンサルタンツ(株)本店 都市整備部
	島田 正徳	
土 木	くれまつ としひろ	中央コンサルタンツ(株)本店 都市整備部
	樽松 俊宏	
	ますだ のりお	中央コンサルタンツ(株)本店 都市整備部
増田 典生		
建 築	しんぼり だいすけ	株式会社 設計領域
	新堀 大祐	
	いまむら ゆうき	株式会社 設計領域
	今村 雄紀	
みずたに まこと	株式会社三菱地所設計名古屋支店	
水谷 誠		
都市計画	くわじま ひろし	中央コンサルタンツ(株)本店 都市整備部
	桑嶋 博史	
	いそわ けいた	中央コンサルタンツ(株)本店 都市整備部
磯輪 恵太		
ランドスケープ	よしたに たかし	株式会社 設計領域
	吉谷 崇	
	しばた あやか	株式会社 設計領域
柴田 純花		
環境エネルギー	いしぐろ しげき	中央コンサルタンツ(株)本店 技術監理部
	石黒 茂樹	
	やまぐち たかお	株式会社三菱地所設計名古屋支店
山口 隆生		
コミュニティ デザイン (合意形成)	にい あきよし	国土館大学 理工学部まちづくり学系准教授
	二井 昭佳	
	いずみ ひであき	有限会社ハートビートプラン
	泉 英明	
なかしま しんいちろう	中央コンサルタンツ(株)本店 都市整備部	
中島 慎一郎		
公民連携	いながき たかまさ	中央コンサルタンツ(株)本店 都市整備部
	稲垣 貴政	
	おがわ とおる	中央コンサルタンツ(株)本店 都市整備部
小川 徹		

総 評

リニア駅周辺整備基本設計業務
公募型プロポーザル審査委員会
委員長 小澤 一郎

今回の公募型プロポーザルは、これまでに策定されたリニア駅周辺整備における基本構想や基本計画の内容を、基本設計においてより具体的なものとするため、土木、建築、都市計画、ランドスケープ、環境・エネルギー、コミュニティデザイン、公民連携の各分野において優れた設計チームを選定することを目的として実施しました。

また審査にあたっては、企画提案におけるプランやデザインをそのまま採用するのではなく、あくまで飯田市民や行政、あるいはリニア駅周辺整備デザイン会議にとって、一緒に取り組んでいけそうな良きパートナーとして適正かどうか、その取り組み姿勢が大事であるとともに、まさにそうした能力を持ち合わせているか、という点に主眼を置いて審査を行いました。

基本設計業務について、平成 29 年 8 月 31 日にプロポーザルの公告を行ったところ、3 者から応募がありました。いずれの提案も独自の技術や創意工夫の点が見られ、このような企画提案書の作成には多大な労力や費用負担があったことが想像されます。提案をまとめた応募者の熱意に敬意を表するとともに感謝いたします。

当審査委員会においては、「公募型プロポーザル実施要領」および「特記仕様書」、「評価項目及び基準表」に基づいて厳正に審査を行い、応募者番号 154、中央コンサルタンツ株式会社飯田事務所の設計チームを優先交渉権者として選定しました。

応募者番号 154 の提案については、各審査委員から以下のような評価がなされました。

- ・ 市民参加プロセスの提案について、テーマとして必要な内容を具体的に提案されていたので非常に良かったと思います。全体として何をやらなくてはいけないかという課題を捉え、一定の整理提案を行うとともに、市民参加、とくに地域の人達が主体的に使っていくことに重きを置いた提案をしているという点を評価しました。
- ・ 基本計画を踏まえた上で独自の新しい提案が盛り込まれており、飯田市およびリニア駅周辺整備デザイン会議とともに、リニア駅周辺整備を行う連携事業者として、適正との印象を受けました。
- ・ 駅コンコースの高さを見直すといった条件を変えるような新しい提案も見られました。提案の妥当性については、今後詳細な検討が必要ですが、新しい提案を盛り込みながら説得力のあるプレゼンをした事は評価できます。
- ・ 交通モビリティの変化や、駐車場を利用状況に応じて広場に変える可能性といった視点を置いて提案した点も評価しました。開業までの市民参加については各社提案していましたが、開業後の市民参加の可能性について具体的に社会実験を行い、担い手を作るところまで提案しており、その点も評価しました。ただ、広場の使い方については、外から訪れる人達の利用についても検討を深めることが課題です。

- ・ 審査をする上で特に注目した点は、企画提案やプレゼンテーションに反映されていなくても、指摘すれば直るかどうかという専門技術力を持っているか、また柔軟な意思疎通ができるコミュニケーション能力を持っているか、という2点を見ました。主に受け答えをしていた担当者は非常に反応が良く、設計に関する多くの審査委員の質問に対しても、かなり詳細にしっかりイメージを持って回答しており、一番評価が高い部分でした。間違い等があっても、ここはちょっと違うという、こちらからの指摘に対して、より良い案にすぐに対応してくれるという意味で、非常に高く評価しました。もちろん専門技術力も、デザイン力も備えられていると判断しました。

この選定結果を踏まえ、優先交渉権者に選定された中央コンサルタンツ株式会社と飯田市との間で交渉が行われ、基本設計業務の委託契約が締結されました。今後は受託者として基本設計業務に従事していただくこととなりますが、同社におかれては、本事業の基本構想及び基本計画に沿った基本設計業務を真摯かつ誠実に実施するという姿勢を持って取り組まれることを求めます。また、飯田市及び地域の方々と良好なパートナーシップを構築し、公共の福祉向上のため、一層努力されることを期待します。

最後に、受託者にすべてを任せきりということではなく、市民の皆さんが高い意識を持ち、関心を持って取り組んでいく必要があります。こうした取組みが展開されるよう飯田市やデザイン会議において、具体的な検討を行うことが必要です。

発言するだけでなく、関心を持つ市民の方々が責任ある姿勢で参加していただけると、非常に良いと考えます。飯田市民の意識の高さや、やる気の強さが、パートナーである受託者をやる気にさせ、市民の皆さんと一緒に、専門的な知見を総動員して、より良いものにしていけるよう期待します。

<参考> 公募型プロポーザルの実施経過等

1. 実施経過

平成 29 年 8 月 31 日	本プロポーザルの実施公告
平成 29 年 9 月 12 日	質問に対する回答
平成 29 年 9 月 20 日	参加資格審査及び結果通知
平成 29 年 10 月 13 日	企画提案書の提出期限
平成 29 年 10 月 24 日	第 1 次審査
平成 29 年 10 月 26 日	第 1 次審査結果通知
平成 29 年 11 月 8 日	第 2 次審査
平成 29 年 11 月 8 日	第 2 次審査最終結果公表

2. 応募者数

応募者数 3 者

3. 公募型プロポーザル審査委員

委員長	小澤 一郎（公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター顧問）
副委員長	北川原 温（東京芸術大学美術学部建築科教授）
委員	瀬田 史彦（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准教授）
委員	大西 達也（一般財団法人日本経済研究所常務理事地域創造業務統括 地域未来研究センター長兼調査局長）
委員	鈴木 弘司（名古屋工業大学大学院工学研究科社会工学専攻准教授）
委員	上原 三知（信州大学総合理工学研究科准教授）
委員	佐藤 健（飯田市副市長）
委員	北沢 武人（飯田市リニア推進部長）